

# 帝都防空戦

松本州平 帝国陸海軍機手マリンングブック 海軍機編

DEFENDERS OF THE IMPERIAL CITY 1945  
SHU-HEI MATSUMOTO : IMPERIAL NAVY AIRCRAFT MODELING BOOK

大日本絵画  
Dainippon Kaiga  
松本州平 / 著



# 帝都防空戦

松本州平 帝国陸海軍機モデリングブック 海軍機編

松本州平／著

DEFENDERS OF THE IMPERIAL CITY 1945

SHU-HEI MATSUMOTO

IMPERIAL NAVY AIRCRAFT MODELING BOOK

大日本絵画  
Dainipponkaiga

# 目次

まえがき	2
基礎テクニック1 1/72ならチマチマ打つ必要ナシ! リベットルーラーにも頑張ってもらおう	8
基礎テクニック2 リベットを打つ前のひと手間が効く! 「日本軍機ならではの」な外板ベコベコ表現	9
三菱 A6M5c 零式艦上戦闘機五二型丙 [ハセガワ 1/32] 初出『スケールアヴィエーション』2022年9月号(通巻第147号)	10
三菱 J2M3 局地戦闘機 雷電二一型 [ハセガワ 1/32] 初出『スケールアヴィエーション』2021年1月号(通巻第137号)	22
川西 N1K2-J 局地戦闘機 紫電改 [ハセガワ 1/32] 本誌初掲載	32
三菱 G4M1 一式陸上攻撃機 一一型 [タミヤ 1/48] 初出『スケールアヴィエーション』2021年3月号(通巻第138号)	44
三菱 G3M2 九六式陸上攻撃機 二二型 [ハセガワ 1/72] 初出『スケールアヴィエーション』2023年7月号(通巻第152号)	58
空技廠 P1Y1 陸上爆撃機 銀河 一一型 [ハセガワ 1/72] 初出『スケールアヴィエーション』2023年3月号(通巻第150号)	70
中島 G8N1 十八試 陸上攻撃機 連山改 [ハセガワ 1/72 改造] 初出『スケールアヴィエーション』2018年7月号(通巻第122号)	92
中島 G8N1 十八試 陸上攻撃機 連山 [ハセガワ 1/72] 初出『スケールアヴィエーション』2023年9月号(通巻第153号)	96
いまもって唯一の1/72スケールキット! 発売から50年、ハセガワの連山はタイムカプセルだ	110
九州飛行機 J7W1 震電 複座夜戦型 [ハセガワ 1/48 改造] 初出『スケールアヴィエーション』2017年11月号(通巻第118号)	112
番外編 松本州平さん教えてください 2000円以内でオススメの飛行機キットは?	126



CASE 1

MITSUBISHI  
**A6M5c**  
**MODEL 52**  
**Hei [ZERO]**

三菱 A6M5c 零式艦上戦闘機五二型丙

**HASEGAWA**  
**1/32 SCALE**

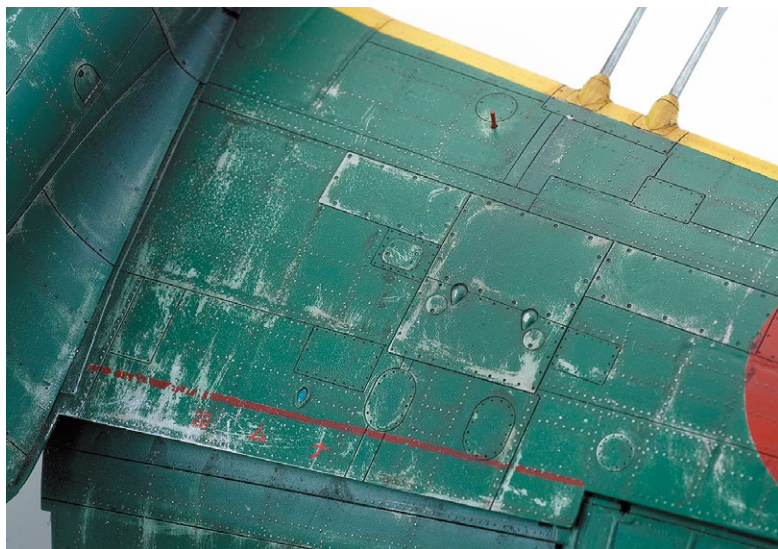


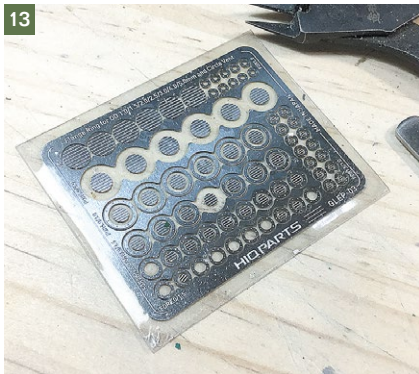


KIT REVIEW



1/32スケールの紫電改といえば1973年発売のレベル、同じく1975年に発売され2000年代に童友社から復刻されたトミーのキットが知られるが、本キットはハセガワから2013年、満を持しての発売となった。まず垂直尾翼の面積の広い前期型、続いて同面積が狭くなり爆弾用弾体抑え収納式の主翼下面となった後期型、カウルフラップの異なる試作6号機といったバリエーションが展開されている。胴体にサポートパーツを組み込み強度を確保、またコクピットは胴体貼り合わせ後に下方から組み込めるなど塗装の利便性を考慮した設計だ。誉二型エンジンは精密なディテールで再現され、またキャノピーとフラップは開閉が選択可能。付属する着座姿勢パイロットの原型は太平洋戦争当時の日本人フェイスを作らせたこの人、竹一郎氏。表情の異なる2種の頭部から選択可能だ。マーキングは戦闘第301飛行隊、官野大尉乗機と戦闘第407飛行隊、大原飛曹長乗機の2種が用意される





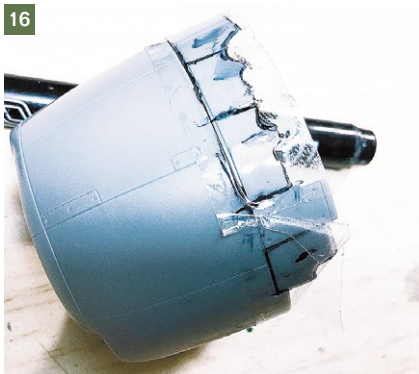
13 ▲ハイキューパーツで売ってる、金属製のリング状ディテールアップパーツ。これは本当にいろんなところに使えるから、もっておくと大変便利なんですわ



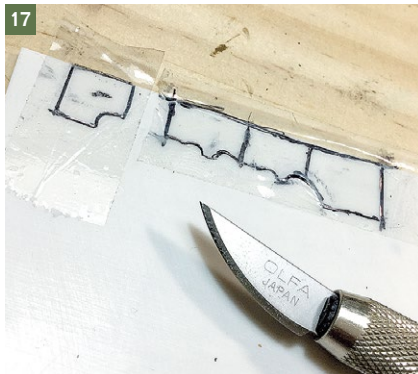
14 ▲今回はプロペラの基部をディテールアップするのに使用。プロペラを一旦切り離してからリングを貼り付け、金属線で軸を打ったプロペラを再固定します



15 ▲プロペラが完成して、スピナーをくっつけたところ。紫電改のスピナーはプロペラが突き出してる穴がでっかいから、プロペラ基部に細工をすとグッと精密な感じになるね



16 ▲カウルフラップは開いた状態にしたかったんで、まずはセロテープを貼り付けて一枚ずつ形をトレースします。その後でカウルフラップ部分を切り離すけど、パーツは取っておく



17 ▲トレースした線をもとにして、0.2mm厚のプラ板をカウルフラップの形に切り出す。案外ややこしい形をしているので、焦らず丁寧に切り出した方が良さそうやね



18 ▲切り出したカウルフラップは、どっちが表かわからなくなりがちなんで、取っておいキットのカウルフラップを見つつ、こーやって裏面に印をつけておいた方がいいっすね



19 ▲キットのカウルフラップに切り出したプラ板を貼り付けて、キットのパーツの裏面を削り込む。こうすると、カウルにあった自然なアールになるわけです



20 ▲右が切り出したままのプラ板、左がキットのカウルフラップに貼り付けた状態。当たり前だけど、加工後はばっちりカウルの湾曲に沿った形になってます



21 ▲0.5mmのプラ棒とプラ板を使って、カウルフラップ裏面のコントロールロッドを自作。キットのカウルフラップの厚みを糊代にしつつ、開いた状態でカウルに取り付けたら完成



22 ▲カウルのエアインタークは、内側にメッシュを貼りたい。まずキットのパーツのエアインターク部を開き、その穴をトレースしたマスキングテープを形にしてメッシュを切り出す



23 ▲メッシュをカウル上下のエアインタークに貼り付けたらこんな感じ。正面から見るとけっこう目立つでしょ。キットのままだとここは塞がってるんで、やったほうがいいっすねえ



24 ▲排気管には浅く穴があいているので、斜めにドリルを突っ込んで中身を削り開く。先に錆色を塗装してから機種に取り付け、さらにその上からカウルを取り付けます

### 三菱 G4M1 一式陸上攻撃機——型

「簡単に火が付くライター」のあだ名で、米軍から嘲られた一式陸上攻撃機。実際、ほとんど防御がなく、日本軍の人命軽視思想の代名詞ともされる。しかしこれは開発の段階で、将来主流となる20ミリ機銃に堪える防御力を求めるより、速度と運動性を重視した方が生存率が高く、また航続距離を伸ばせるという考えから、敢えて選択した設計である。過酷な判断ではあるが、技術的な限界の中で少しでもましな解を求めた設計なのである。また、戦争中に一式陸攻の後継機開発ができず、終戦まで使い続けたことも損害を増やす原因であった



MITSUBISHI  
G4M1 MODEL11 [BETTY]  
TAMIYA 1/48 SCALE





CASE 9

KYUSHU

# J7W1 SHINDEN TWO-SEAT NIGHT FIGHTER

九州飛行機 J7W1 震電 複座夜戦型

HASEGAWA  
1/48 SCALE



# 帝都防空戦

松本州平 帝国陸海軍機モデリングブック 海軍機編

DEFENDERS OF THE IMPERIAL CITY 1945

SHU-HEI MATSUMOTO IMPERIAL NAVY AIRCRAFT MODELING BOOK

- 三菱 A6M5c 零式艦上戦闘機五二型丙 [ハセガワ 1/32]
- 三菱 J2M3 局地戦闘機 雷電二一型 [ハセガワ 1/32]
- 川西 N1K2J 局地戦闘機 紫電改 [セガワ 1/32]
- 三菱 一式陸上攻撃機 [タミヤ 1/48]
- 三菱 九六式陸上攻撃機 一二型 / 一三型 [ハセガワ 1/72]
- 空技廠 P1Y1 陸上爆撃機 銀河11型 [ハセガワ 1/72]
- 中島 G8N1 一八試 陸上攻撃機 連山改 [ハセガワ 1/72改造]
- 中島 G8N1 一八試 陸上攻撃機 連山 [ハセガワ 1/72]
- 九州飛行機 J7W1 震電 複座夜戦型 [ハセガワ 1/48改造]

ISBN978-4-499-23386-6

C0076 ¥4500E



9784499233866

定価(本体4,500円+税)



1920076045004

